

第5 進路指導の重点

生徒各自の自己理解の深化を中核とし、自己の個性の開発に努める過程の中で、将来それをよりよく発揮できる方面への進路を見出し、人間の価値を認識させる。その際、特に重要な点は次のことである。

(ア) 自己理解の深化

(イ) 人間の価値の認識

(1) 進路指導のすすめ方 路指導は一貫したものであるが、次のように学年ごとに段階的な目標を設ける。

(ア) 第2学年 自己の個性をいかし、自己の役割を果たすためには、どのような職業が向いているかを知ること努めて、将来の進路をどういう方面に向けるべきかを深く考えさせる。

(イ) 第3学年 自らの進路の展望に立って、就職なり、進学なりの進路をより具体化し、それに必要な教養や学力などの充実に努めさせる。

(2) 進路指導の実施計画内容

(ア) あらゆる学習活動を通じて、生徒自身が自分というものを見つめるように、ホームルーム担任を中心に、全教職員が協同して、指導助言に努める。

(イ) あらゆる学習活動を通じて、人間の価値の認識に努めさせる。

(ウ) 組織的、継続的な観察によって、一人一人の生徒理解を深めていく。

(エ) 進路指導に必要な資料の収集によって、進路に関する指導助言にあたる。

(オ) LHRの充実に努め、各学年下表の様なLHRを実施する。

進路指導に関するLHRの年間予定表

学期	2年	3年
1	<u>進路志望と学習</u> 進路志望調査 進路学習 ・ 資料の利用法や模試等について ・ 入試科目と3年次の学習のしかたについて	<u>希望進路の実現〔 〕</u> 進路志望調査 進路説明会 本校の進路状況等について 進路説明会 進学・就職等の実情について
2	<u>進路に関する知識と理解〔 〕</u> 進路説明会 進学や就職に向けての準備について	<u>希望進路の実現〔 〕</u> 受験指導
3	<u>進路学習の具体化</u> 次年度の年間スケジュール (進学・就職)	